

大気環境部の業務紹介

山形県の大気環境を守るために
こんなことをやっています！

環境大気常時監視

山形県の大気環境を守るためには、今の大気の汚れ具合がどうなっているかを知ることが重要です。

そこで、山形県と山形市では県内10市2町に大気の測定局(16局)と測定値を集中管理するテレメータシステムを整備して、二酸化硫黄(SO₂)、窒素酸化物(NO_x)、光化学オキシダント(O_x)、PM2.5などを常に測定・監視しています。(山形市内の測定局は山形市が設置・管理をしています。)

測定した結果は、山形県のホームページでリアルタイムに見ることが出来ます。

また、最近注目されているPM2.5については、年に4回、季節ごとに詳しい成分分析を行い、どこからやって来たものなのかを調べています。



大気の汚れ具合を測定している測定局です。

PM2.5の詳しい成分を調べています。



有害大気汚染物質モニタリング調査

私たちは生活を便利にするため、元々、自然の中にはなかったいろいろな化学物質を作り出し、使ってきました。

これらの化学物質の中には、私たちの健康に有害なものも含まれています。

このため、大気に含まれる有害な化学物質を県内2地点で毎月1回測定し、監視をしています。



大気に含まれる有害な化学物質を採取する装置です。

酸性雨大気汚染調査

山形県の面積の約7割が森林で占められています。山形県の大切な資源である森林、湖や沼、土、植物などを酸性雨の影響から守るため、雨、雪等の降水を採取して、pHや降水の中に溶け込んでいる成分等を年間を通して測定し、その結果を広く公表しています。

また、「やまがた酸性雨ネットワーク」という組織の事業として、県内の小中高生や住民の方々に参加を呼びかけて、平成14年度から県内一斉の酸性雨調査を実施し、雨のpHを測定し、結果を報告しています。



雨や雪を採取する装置です。

ばい煙測定



煙突に登り、煙に含まれる物質を採取しています。

工場や会社に設置されているボイラーやごみを燃やす廃棄物焼却炉などの煙突から出る煙も大気を汚す原因の一つになっています。

このため、煙突から出る煙に含まれるばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素の量を測定し、基準を守っているか監視を行っています。

身近な生活環境を守るために騒音の測定もしています！

騒音調査

航空機の飛行・離着陸で発生する音により、周辺に住む人に影響を与えないよう、山形空港周辺の地点で騒音の測定を行い、音の大きさが基準を守っているかどうか調査しています。

山形空港の周辺で騒音の測定をしています。

